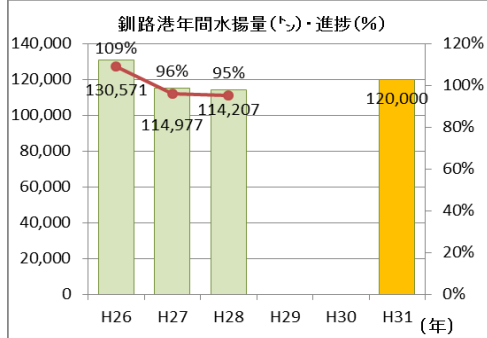


【基本目標 1】 地域経済のプラス成長と雇用の創出を図る

① 釧路らしさを生み出す農林水産業の成長産業化

ア 持続的成長を目指した水産業の振興



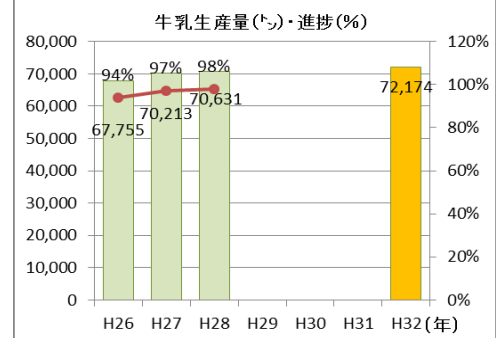
増要因

—

減要因

海況変化などにより、サンマ・イカの来遊が減少したため

イ 生産基盤の強化による農業の振興



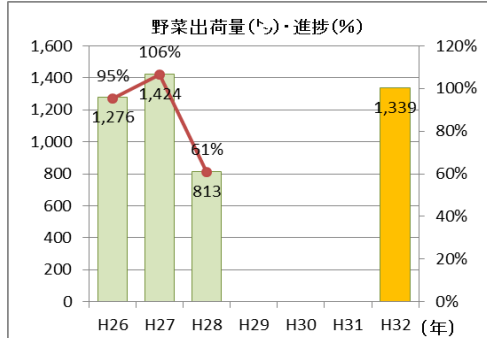
増要因

生産者による乳牛の増頭や改良、飼料の改善等生乳増産に向けた環境が整ってきたため

減要因

—

イ 生産基盤の強化による農業の振興



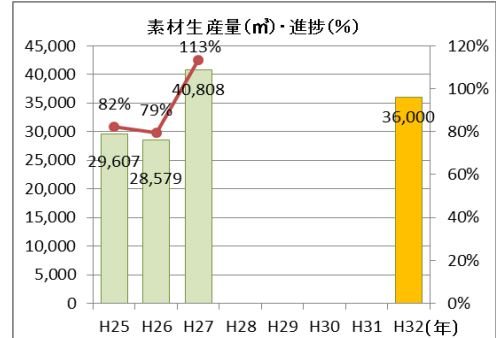
増要因

—

減要因

晩秋から初夏にかけての長雨と秋の台風による影響が甚大であった。

ウ 森林資源の循環利用を通じた林業の振興



増要因

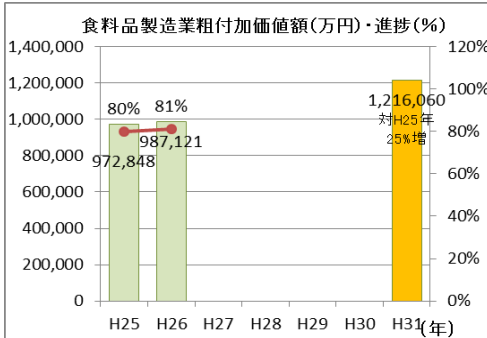
国有林における伐採量が一時的に増加したため。

減要因

—

② 釧路の「食」の高付加価値化と販路拡大

ア 高付加価値化による魅力ある製品づくり



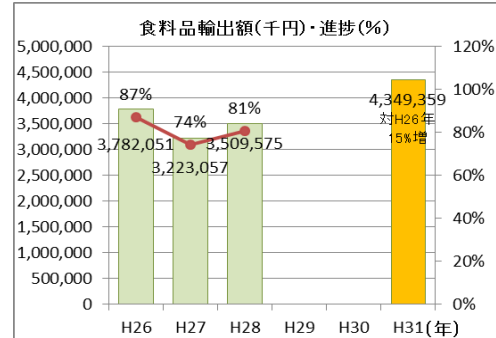
増要因

—

減要因

—

イ 地場産品の販路開拓・拡大



増要因

魚介類輸出額が増加したため。

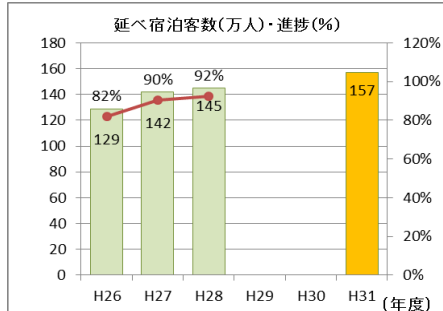
減要因

—

【基本目標 1】 地域経済のプラス成長と雇用の創出を図る

③ 釧路の自然文化を活かした世界一級の観光地域づくり

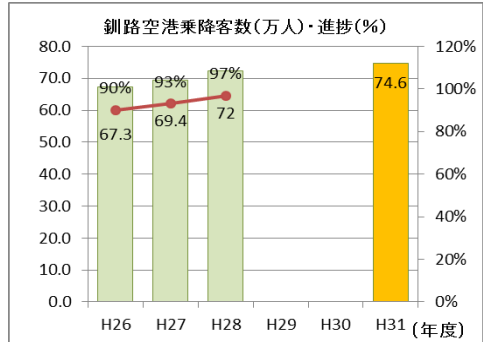
ア 「日本版DMO」の構築
 イ 釧路が誇る地域資源を活かした滞在型観光地域づくり
 ウ 釧路のブランド力や広域エリアの魅力を活かした旅行市場の活性化



増要因 道道道阿寒ICの開通や航空機利用による旅行需要の増加に伴う道内外宿泊者数の増加

減要因 —

エ 国内外からの交流人口の受入拡大

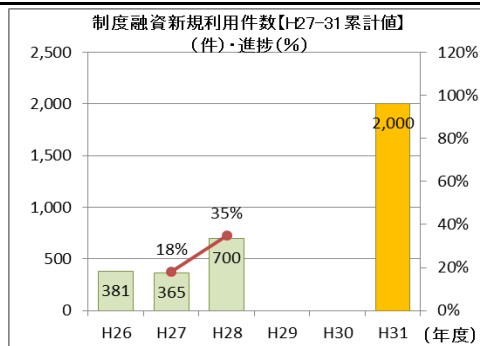


増要因 東京線の機材大型化期間延長によるもの(延長期間の拡大)

減要因 —

④ 中小企業・小規模事業者の競争力の強化

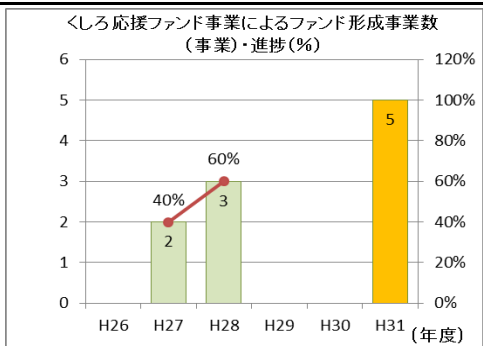
ア 地域経済を支える中小企業・小規模事業者の支援



増要因 —

減要因 市中金利が低下し続けており、市制度融資の契約金利の優位性が相対的に低下していることが要因と考えられる。

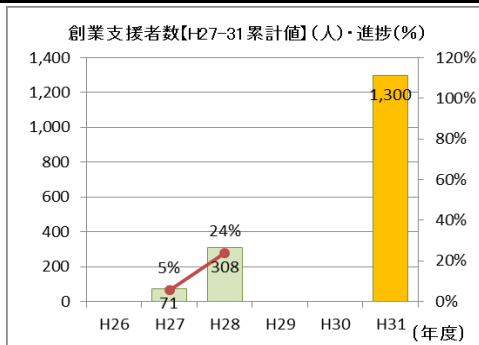
ア 地域経済を支える中小企業・小規模事業者の支援



増要因 市の取り組みによる成果

減要因 —

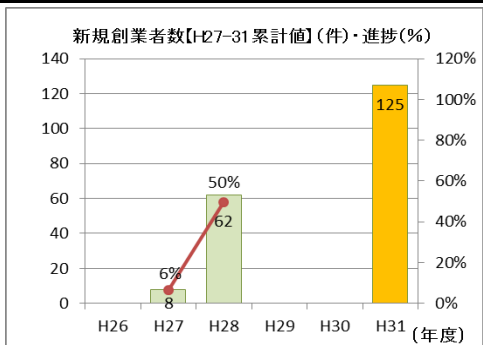
イ 創業・第二創業の支援



増要因 H28年度から経営支援員の配置や創業支援資金など創業に関する具体的な施策を展開したことが増加の要因と考えられる。

減要因 —

イ 創業・第二創業の支援



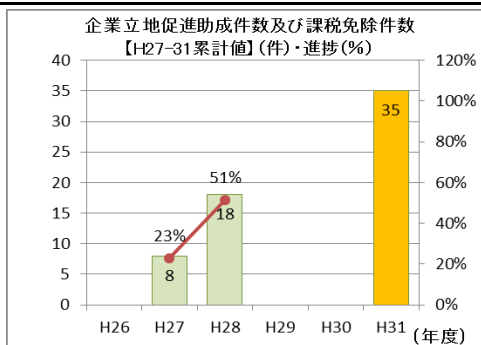
増要因 H28年度から経営支援員の配置や創業支援資金など創業に関する具体的な施策を展開したことが増加の要因と考えられる。

減要因 —

【基本目標 1】 地域経済のプラス成長と雇用の創出を図る

⑤地域特性を活かした企業誘致

ア 物流機能、ものづくり技術などを活かした企業誘致

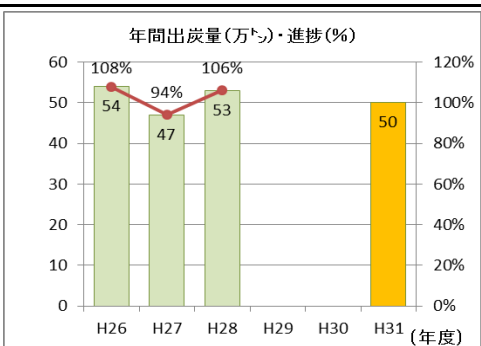


増要因 投資を行う企業が増加したため。

減要因 —

⑥地域に根ざした石炭産業の振興

ア 石炭エネルギーの活用

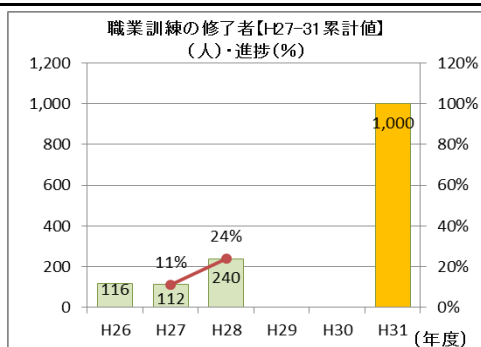


増要因 計画通りの採炭が行われたため。

減要因 —

⑦地域を支える人材の確保

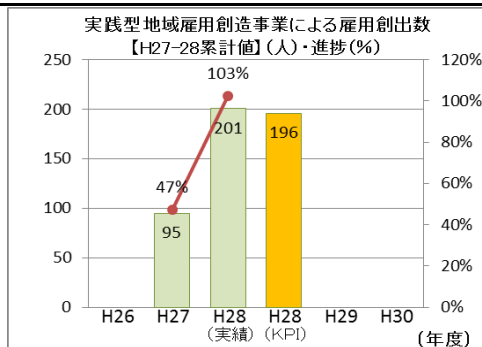
ア 地域産業を支える多様な人材の育成



増要因 各訓練機関（ポリテクセンター釧路、北海道立釧路高等技術専門学院、釧路高等技術専門学校）の入校者数の変移により微増しているが、求人倍率の好転等により各校定員割の状況が続いている。

減要因 —

ア 地域産業を支える多様な人材の育成

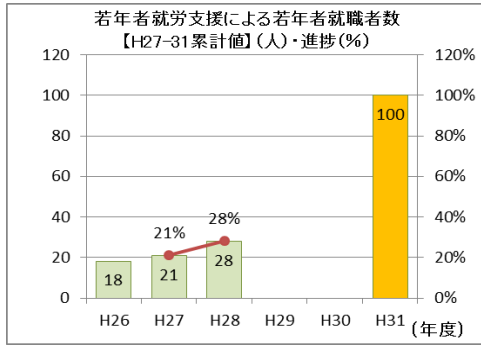


増要因 企業の採用ニーズは高いが求職者数が不足している情勢のなか、企業情報の積極的な提供を通して求職者の意識の高まりを醸成することができたことが要因と考えられる。

減要因 —

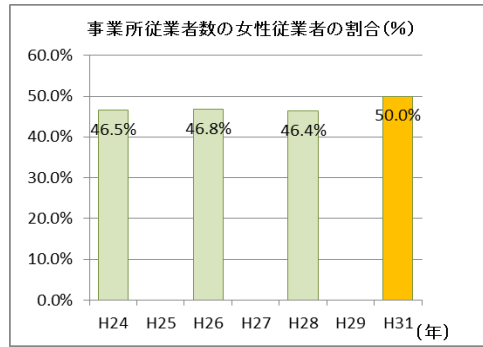
【基本目標 1】 地域経済のプラス成長と雇用の創出を図る

イ 地域の未来を担う子ども・若者の人材育成



増要因	—
減要因	新規高卒者の内定率がほぼ100%になっていることなど、若年者雇用に関する情勢の好転に伴い、事業に参加する若年者自体が減少していることが要因と考えられる。

ウ 女性の活躍促進

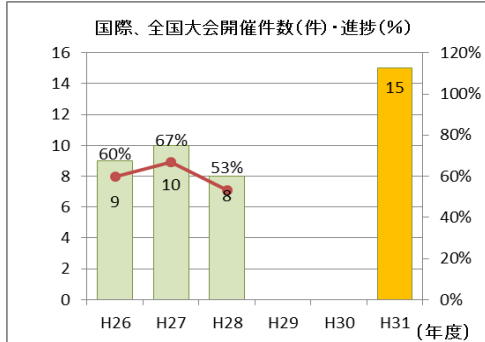


増要因	—
減要因	—

【基本目標2】 釧路らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す

① 釧路の強みを活かした交流人口の拡大

ア 国際会議観光都市「釧路」を活かしたMICE誘致の推進



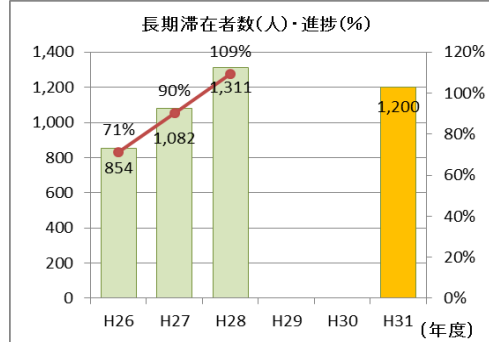
増要因

—

減要因

スポーツ大会の釧路開催の減によるもの

イ 釧路滞在誘致活動の推進



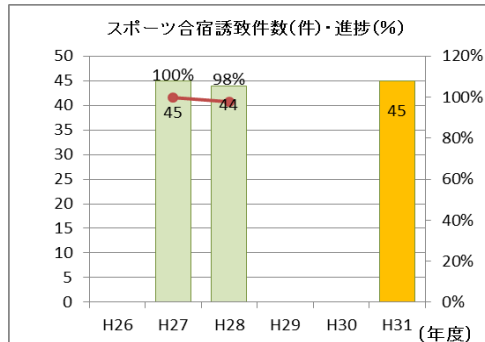
増要因

受入物件の供給増やくしろ長期滞在ビジネス研究会ホームページ等によるPR強化によるもの

減要因

—

イ 釧路滞在誘致活動の推進



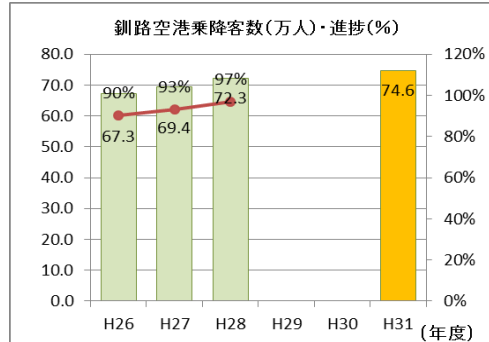
増要因

—

減要因

市の取り組みの成果により、前年同様の高水準で推移している。1団体減少しているものの、人数では増加している。

ウ 国内外からの交流人口の受入拡大（再掲）



増要因

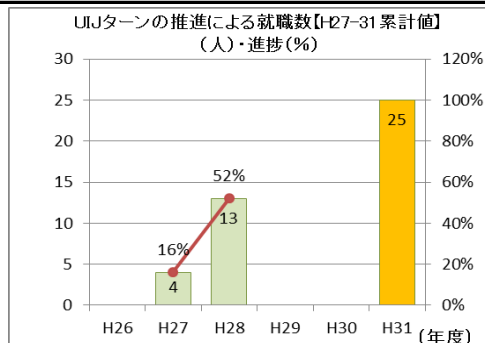
東京線の機材大型化期間延長によるもの（延長期間の拡大）

減要因

—

② 釧路の強みを活かした移住・定住の促進

ア 釧路の強みを活かした官民や域学の連携による移住・定住の促進



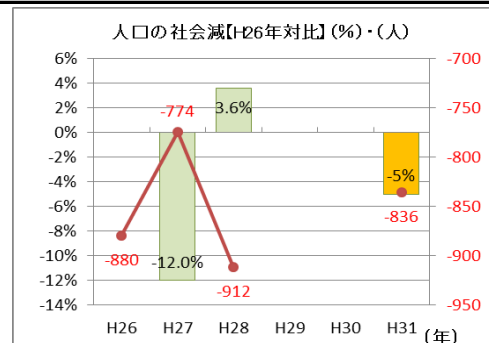
増要因

UIJターン就職個別相談会の回数を増加させる等、取組の充実を図ったことが要因と考えられる。

減要因

—

ア 釧路の強みを活かした官民や域学の連携による移住・定住の促進



増要因

25～39歳の転出超過による影響が大きい（H26年:-37、H28年:-277）

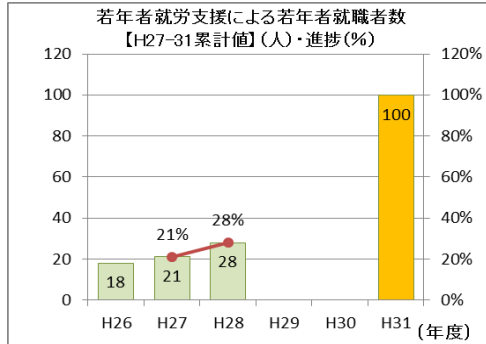
減要因

—

【基本目標 3】 子どもを生み育てたいという希望をかなえる

①結婚や妊娠を支える環境づくり

ア 結婚支援や社会気運の醸成



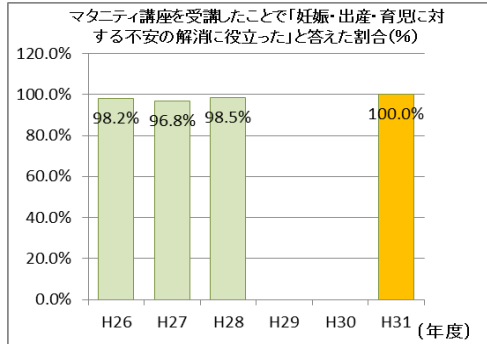
増要因

—

減要因

新規高卒者の内定率がほぼ100%になっていることなど、若年者雇用に関する情勢の好転に伴い、事業に参加する若年者自体が減少していることが要因と考えられる。

イ 妊娠・出産に向けた支援



増要因

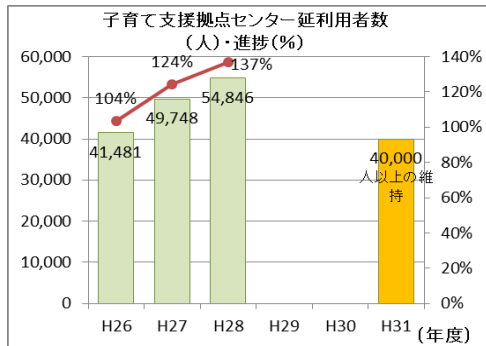
—

減要因

—

②安心して子どもを生み育てられる環境づくり

ア 安全・安心な母子保健医療の充実



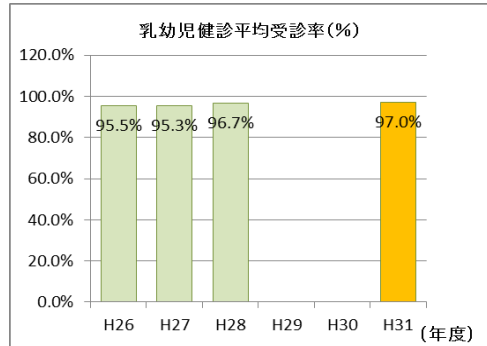
増要因

子育て世帯への継続的な支援による

減要因

—

ア 安全・安心な母子保健医療の充実



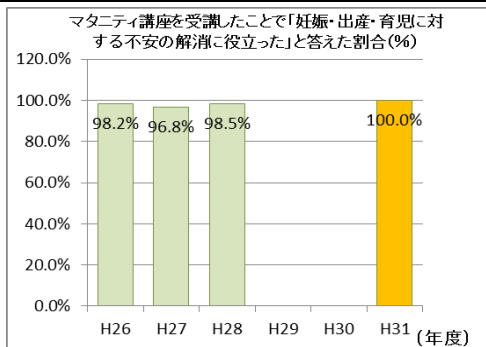
増要因

天候不良により健診日程を変更したことなどの要因が考えられる

減要因

—

ア 安全・安心な母子保健医療の充実



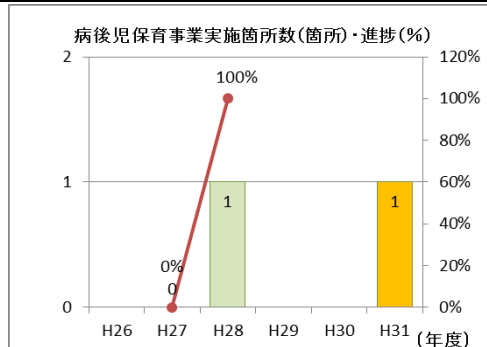
増要因

—

減要因

受講者の中に、すでに知識のある医療従事者の方や最初から不安のない方がいたことなどが考えられる

イ 教育・保育サービスの充実



増要因

新規開設による

減要因

—

【基本目標3】子どもを生み育てたいという希望をかなえる

イ 教育・保育サービスの充実															
<p>0歳児保育の拡充(待機児童数)(人)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>人数</th></tr> <tr><td>H26</td><td>55</td></tr> <tr><td>H27</td><td>45</td></tr> <tr><td>H28</td><td>18</td></tr> <tr><td>H29</td><td>—</td></tr> <tr><td>H30</td><td>—</td></tr> <tr><td>H31</td><td>—</td></tr> </table>		年度	人数	H26	55	H27	45	H28	18	H29	—	H30	—	H31	—
年度	人数														
H26	55														
H27	45														
H28	18														
H29	—														
H30	—														
H31	—														
増要因	—														
減要因	0歳児保育の拡充による														

イ 教育・保育サービスの充実																						
<p>障がい児保育実施園数(園)・進捗(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>園数</th><th>進捗(%)</th></tr> <tr><td>H26</td><td>9</td><td>64%</td></tr> <tr><td>H27</td><td>10</td><td>71%</td></tr> <tr><td>H28</td><td>11</td><td>79%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H30</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H31</td><td>14</td><td>100%</td></tr> </table>		年度	園数	進捗(%)	H26	9	64%	H27	10	71%	H28	11	79%	H29	—	—	H30	—	—	H31	14	100%
年度	園数	進捗(%)																				
H26	9	64%																				
H27	10	71%																				
H28	11	79%																				
H29	—	—																				
H30	—	—																				
H31	14	100%																				
増要因	障がい児保育実施園の拡充による																					
減要因	—																					

ウ 地域における子育て支援の充実																						
<p>ファミリー・サポート・センター会員数(人)・進捗(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>人数</th><th>進捗(%)</th></tr> <tr><td>H26</td><td>981</td><td>91%</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,042</td><td>97%</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,138</td><td>105%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H30</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H31</td><td>1,079</td><td>対26年度10%増</td></tr> </table>		年度	人数	進捗(%)	H26	981	91%	H27	1,042	97%	H28	1,138	105%	H29	—	—	H30	—	—	H31	1,079	対26年度10%増
年度	人数	進捗(%)																				
H26	981	91%																				
H27	1,042	97%																				
H28	1,138	105%																				
H29	—	—																				
H30	—	—																				
H31	1,079	対26年度10%増																				
増要因	子育ての負担軽減策の継続的な実施による																					
減要因	—																					

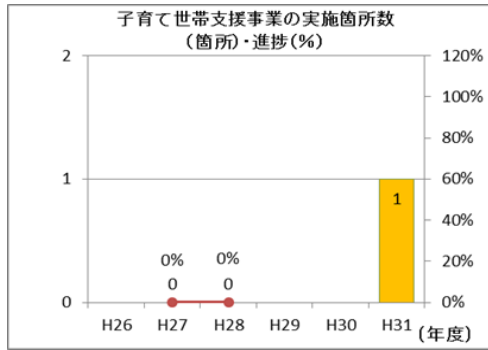
ウ 地域における子育て支援の充実																						
<p>子育て世帯支援事業の実施箇所数(箇所)・進捗(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>箇所数</th><th>進捗(%)</th></tr> <tr><td>H26</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0</td><td>0%</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0</td><td>0%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H30</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H31</td><td>1</td><td>100%</td></tr> </table>		年度	箇所数	進捗(%)	H26	—	—	H27	0	0%	H28	0	0%	H29	—	—	H30	—	—	H31	1	100%
年度	箇所数	進捗(%)																				
H26	—	—																				
H27	0	0%																				
H28	0	0%																				
H29	—	—																				
H30	—	—																				
H31	1	100%																				
増要因	—																					
減要因	—																					

ウ 地域における子育て支援の充実															
<p>子育て世帯応援リフレッシュ事業により「リフレッシュが図られた」と答えた方の割合(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>割合(%)</th></tr> <tr><td>H26</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>H27</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>H28</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>—</td></tr> <tr><td>H30</td><td>—</td></tr> <tr><td>H31</td><td>70%以上</td></tr> </table>		年度	割合(%)	H26	100.0%	H27	100.0%	H28	100.0%	H29	—	H30	—	H31	70%以上
年度	割合(%)														
H26	100.0%														
H27	100.0%														
H28	100.0%														
H29	—														
H30	—														
H31	70%以上														
増要因	子育ての負担軽減策の継続的な実施による														
減要因	—														

エ 働きながら子育てしやすい環境の充実																						
<p>ファミリー・サポート・センター会員数(人)・進捗(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>人数</th><th>進捗(%)</th></tr> <tr><td>H26</td><td>981</td><td>91%</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,042</td><td>97%</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,138</td><td>105%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H30</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H31</td><td>1,079</td><td>対26年度10%増</td></tr> </table>		年度	人数	進捗(%)	H26	981	91%	H27	1,042	97%	H28	1,138	105%	H29	—	—	H30	—	—	H31	1,079	対26年度10%増
年度	人数	進捗(%)																				
H26	981	91%																				
H27	1,042	97%																				
H28	1,138	105%																				
H29	—	—																				
H30	—	—																				
H31	1,079	対26年度10%増																				
増要因	子育ての負担軽減策の継続的な実施による																					
減要因	—																					

【基本目標3】子どもを生み育てたいという希望をかなえる

エ 働きながら子育てしやすい環境の充実



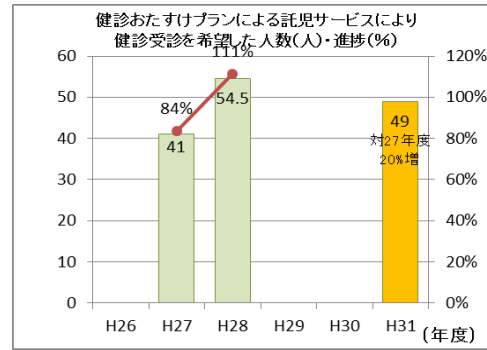
増要因

—

減要因

—

エ 働きながら子育てしやすい環境の充実



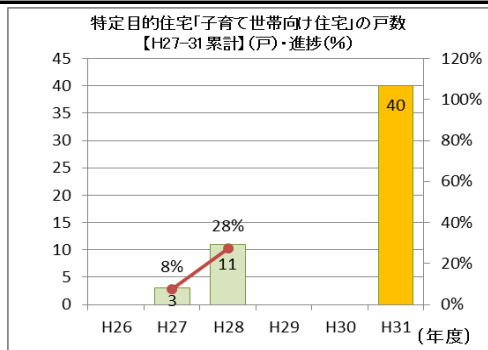
増要因

子育ての負担軽減策の継続的な実施による

減要因

—

オ 子どもと子育て世帯が暮らしやすい生活環境の充実



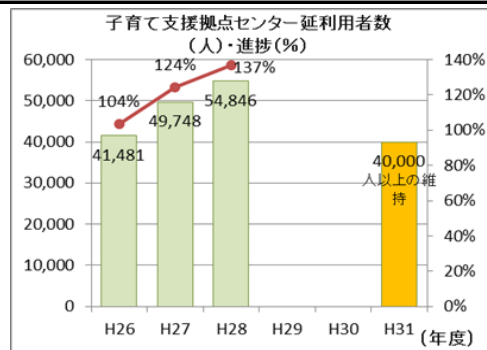
増要因

定期的な公募に伴い入居者が増加しているため

減要因

—

オ 子どもと子育て世帯が暮らしやすい生活環境の充実



増要因

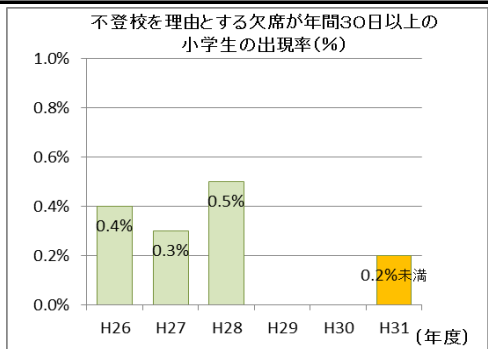
子育て世帯への継続的な支援による

減要因

—

③子どもの成長を支える環境づくり

ア 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の充実



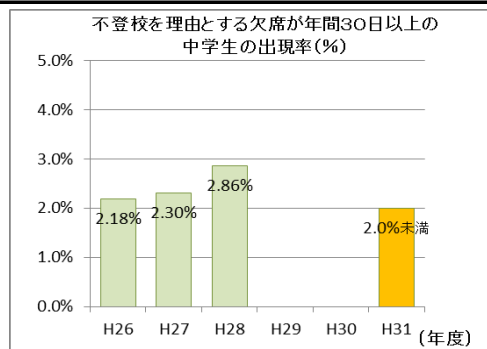
増要因

家庭における登校に対する意識の低下などの要因による不登校生徒の増加によるもの。

減要因

—

ア 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の充実



増要因

無気力による学業不振や家庭における登校に対する意識の低下などの要因による不登校生徒の増加によるもの。

減要因

—

【基本目標 3】 子どもを生み育てたいという希望をかなえる

ア 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の充実															
<p>いじめ問題対策により「いじめはどんな理由があってもいけない、どちらかと言えはけない」と回答する小学生(6年生)の割合(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>96.3%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>96.4%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>97.5%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	割合(%)	H26	96.3%	H27	96.4%	H28	97.5%	H29	-	H30	-	H31	100.0%
年度	割合(%)														
H26	96.3%														
H27	96.4%														
H28	97.5%														
H29	-														
H30	-														
H31	100.0%														
増要因	これまでの、いじめの防止等の取組が児童へ浸透してきているため。														
減要因	—														

ア 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の充実															
<p>いじめ問題対策により「いじめはどんな理由があってもいけない、どちらかと言えはけない」と回答する中学生(3年生)の割合(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>90.8%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>90.8%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>92.2%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	割合(%)	H26	90.8%	H27	90.8%	H28	92.2%	H29	-	H30	-	H31	100.0%
年度	割合(%)														
H26	90.8%														
H27	90.8%														
H28	92.2%														
H29	-														
H30	-														
H31	100.0%														
増要因	これまでの、いじめの防止等の取組が生徒へ浸透してきているため。														
減要因	—														

ア 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の充実															
<p>子どもの不読書(1か月に1冊も本を読まない)割合【小学4~6年生】(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>11.2%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>10.0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	割合(%)	H26	-	H27	11.2%	H28	-	H29	-	H30	-	H31	10.0%
年度	割合(%)														
H26	-														
H27	11.2%														
H28	-														
H29	-														
H30	-														
H31	10.0%														
増要因	—														
減要因	—														

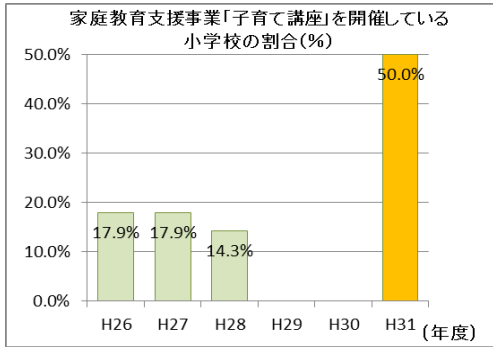
ア 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の充実															
<p>子どもの不読書(1か月に1冊も本を読まない)割合【中学生】(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>22.6%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>20.0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	割合(%)	H26	-	H27	22.6%	H28	-	H29	-	H30	-	H31	20.0%
年度	割合(%)														
H26	-														
H27	22.6%														
H28	-														
H29	-														
H30	-														
H31	20.0%														
増要因	—														
減要因	—														

ア 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の充実															
<p>子どもの不読書(1か月に1冊も本を読まない)割合【高校生】(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>58.1%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>52.0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	割合(%)	H26	-	H27	58.1%	H28	-	H29	-	H30	-	H31	52.0%
年度	割合(%)														
H26	-														
H27	58.1%														
H28	-														
H29	-														
H30	-														
H31	52.0%														
増要因	—														
減要因	—														

イ 児童の健全育成																						
<p>児童館利用者数(人)・進捗(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数(人)</th> <th>進捗(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>295,171</td> <td>102%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>322,084</td> <td>111%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>326,944</td> <td>113%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>290,000</td> <td>80%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	利用者数(人)	進捗(%)	H26	295,171	102%	H27	322,084	111%	H28	326,944	113%	H29	-	-	H30	-	-	H31	290,000	80%
年度	利用者数(人)	進捗(%)																				
H26	295,171	102%																				
H27	322,084	111%																				
H28	326,944	113%																				
H29	-	-																				
H30	-	-																				
H31	290,000	80%																				
増要因	放課後児童クラブ利用者数の増																					
減要因	—																					

【基本目標3】子どもを生み育てたいという希望をかなえる

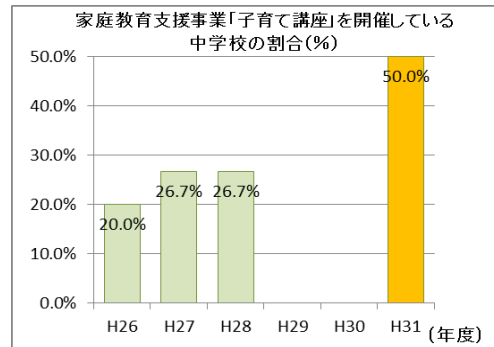
ウ 家庭や地域の教育力向上



増要因 —

減要因 申込みには全て対応しており、一定程度の役割は果たしているが、各小学校では、当講座以外にも様々な取組や講座等を実施しているため

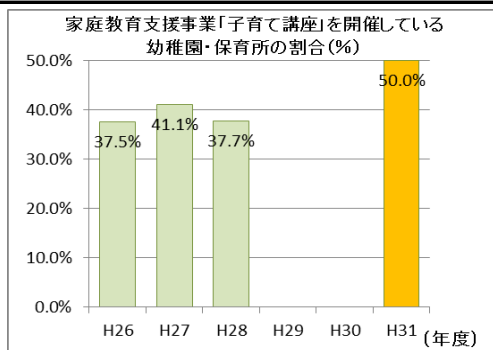
ウ 家庭や地域の教育力向上



増要因 —

減要因 申込みには全て対応しており、一定程度の役割は果たしているが、各中学校では、当講座以外にも様々な取組や講座等を実施しているため

ウ 家庭や地域の教育力向上

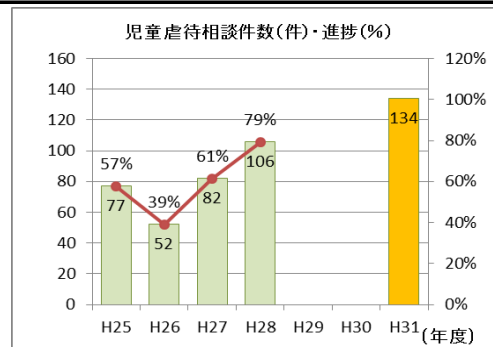


増要因 —

減要因 一定程度の役割は果たしているが、各園では、当講座以外にも様々な取組や講座等を実施しているため

④配慮を要する子どもと家庭を支える環境づくり

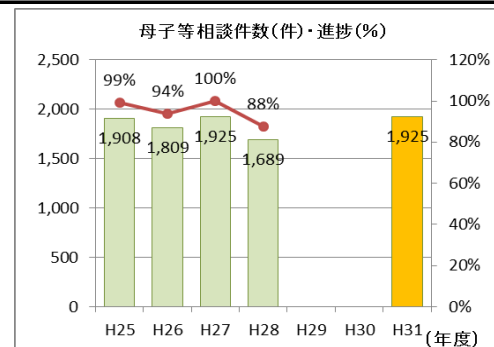
ア 児童虐待防止対策の充実



増要因 児童虐待への意識の高まり及び面前DVにおける通告件数の増加等による

減要因 —

イ ひとり親家庭の自立支援対策の充実

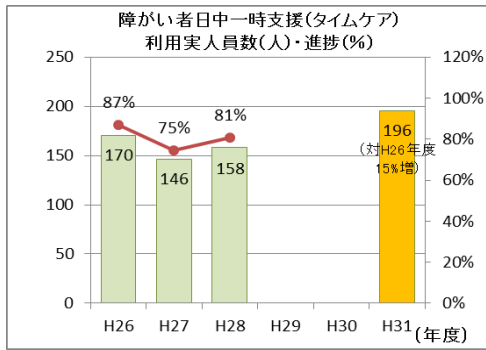


増要因 —

減要因 貸付相談件数の減少（貸付基準変更に伴い対象者減）

【基本目標3】子どもを生み育てたいという希望をかなえる

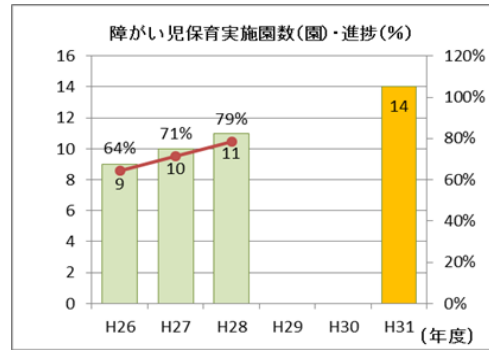
ウ 障がい児支援対策の充実



増要因 平成29年度 制度の見直し(利用対象者の拡充)

減要因 —

ウ 障がい児支援対策の充実



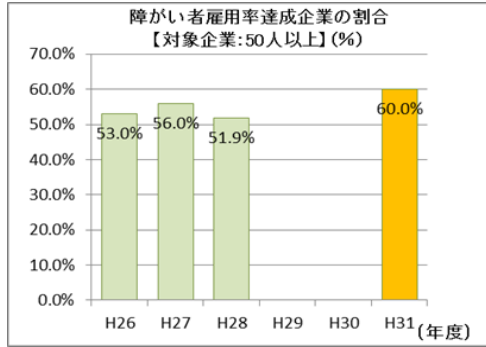
増要因 障がい児保育実施園の拡充による

減要因 —

【基本目標 4】 安心な暮らしをつくる

① 地域生活を支える福祉支援対策

ア 障がい者への就労支援の充実



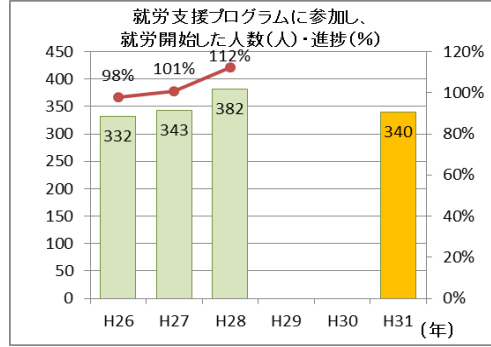
増要因

—

減要因

達成企業、雇用障がい者数、実雇用率は、前年を上回る数値であるものの、雇用労働者数が増加(前年対比2,245人増)とともに対象となる50人以上の企業数(対前年比20社増)も増加となり、達成企業の割合として、減となった。

イ 生活困窮者等への就労支援の充実



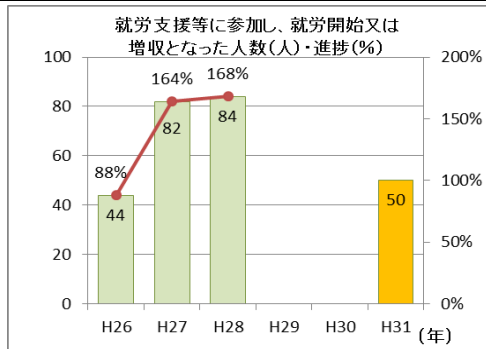
増要因

就労支援コーナーの利用促進による

減要因

—

イ 生活困窮者等への就労支援の充実



増要因

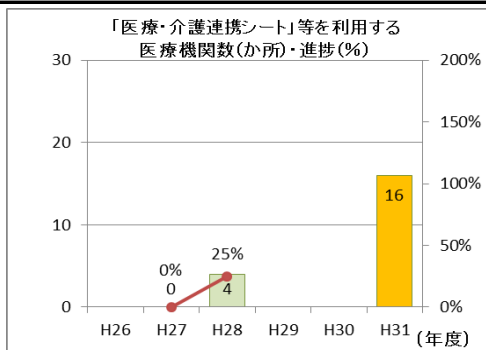
—

減要因

—

② 医療・保健・福祉サービスの充実

ア 地域包括ケアシステムなどの高齢者を支える仕組みづくり



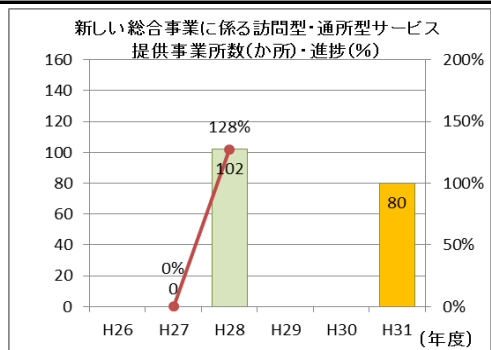
増要因

H29.5月下旬より運用を開始。今後医療機関数は増加していく見込み

減要因

—

ア 地域包括ケアシステムなどの高齢者を支える仕組みづくり



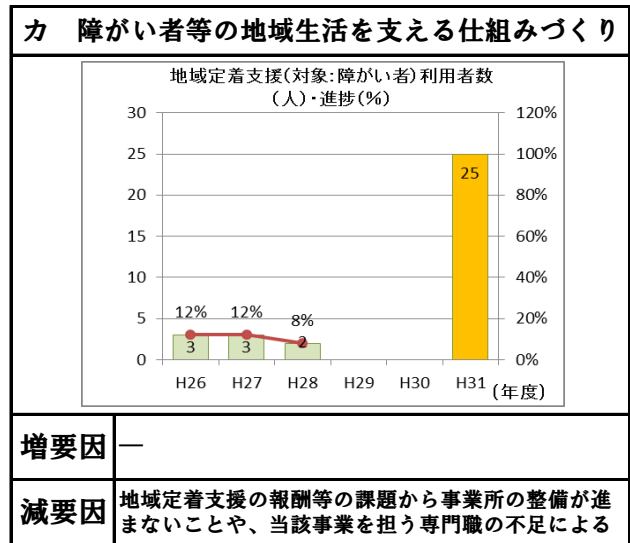
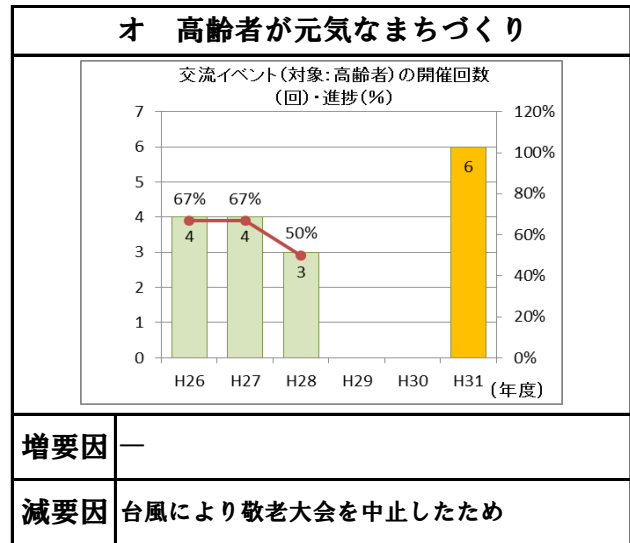
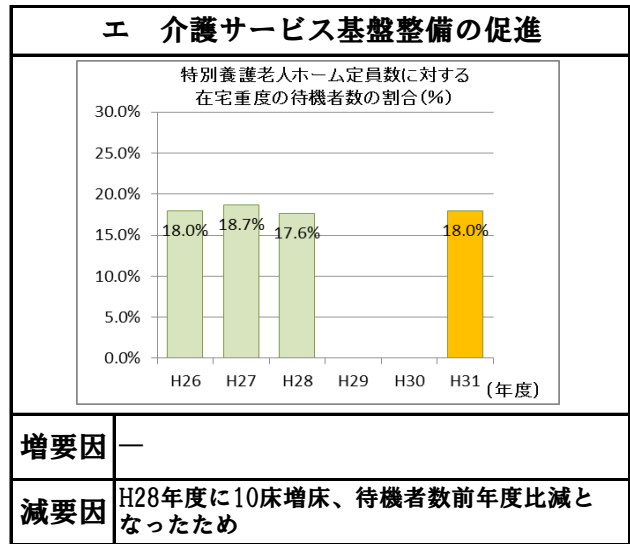
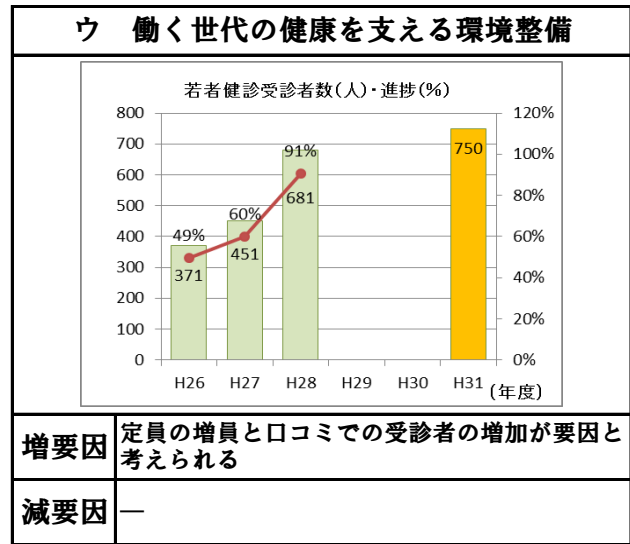
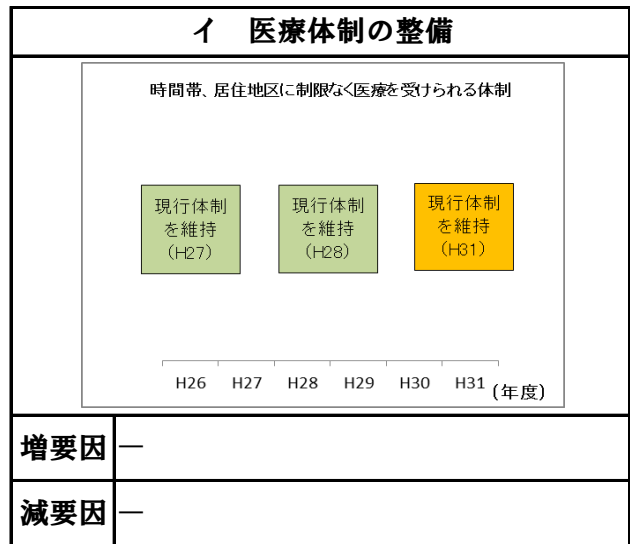
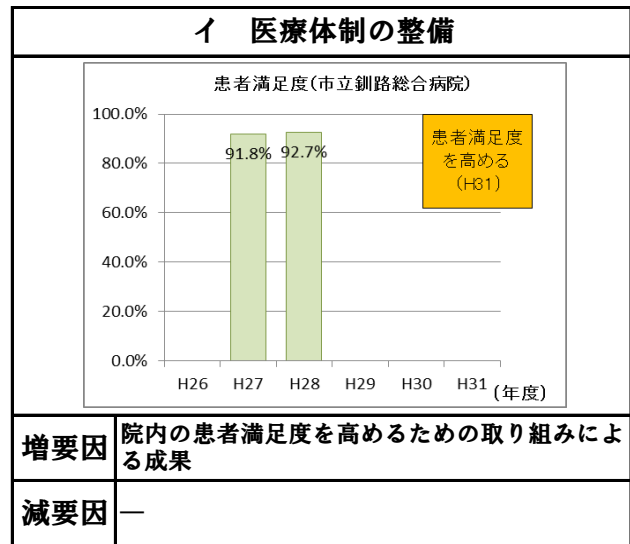
増要因

介護予防事業所の殆どが総合事業を実施

減要因

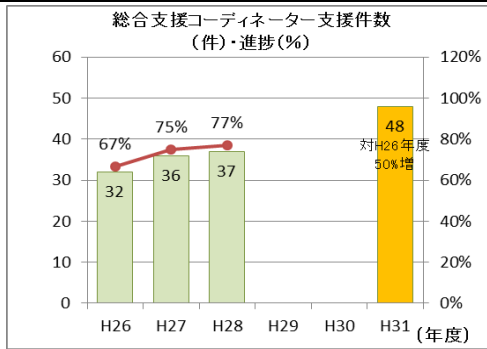
—

【基本目標 4】 安心な暮らしをつくる



【基本目標 4】 安心な暮らしをつくる

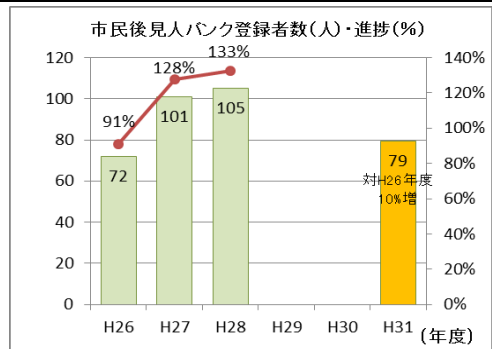
カ 障がい者等の地域生活を支える仕組みづくり



増要因 平成26年度より、総合支援コーディネーター業務を実施、事業の浸透に伴い、地域の当該業務に係るニーズの増加による

減要因 —

カ 障がい者等の地域生活を支える仕組みづくり

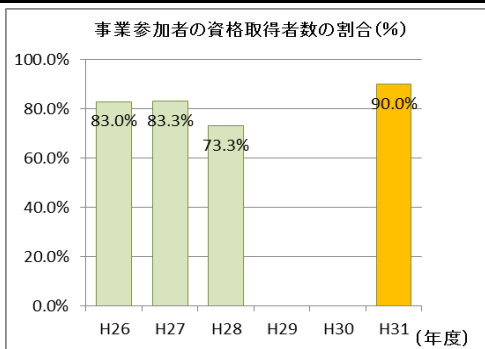


増要因 市民後見人養成講座実施による登録者の増加

減要因 —

③安心な暮らしを守る人材づくり

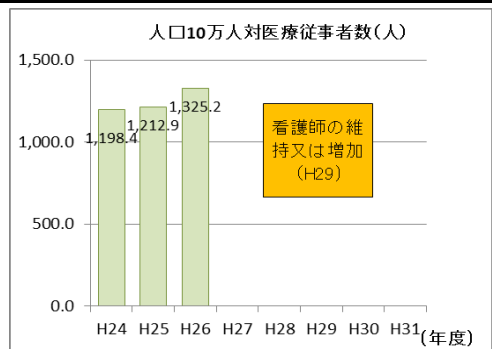
ア 介護人材の確保



増要因 —

減要因 中途離職者などにより、15事業所中11事業所(11人)資格取得

イ 医療従事者の確保

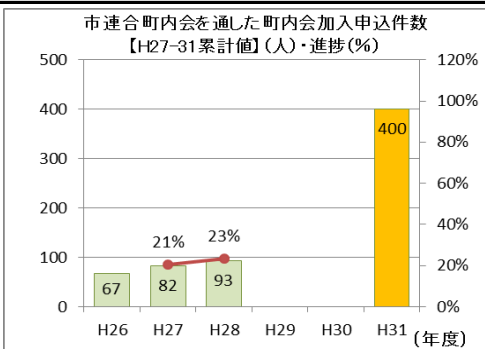


増要因 —

減要因 —

④地域コミュニティの強化

ア 地域コミュニティの強化



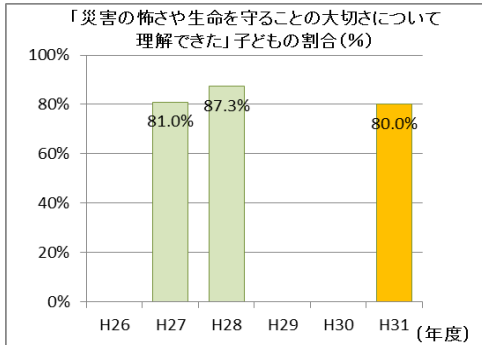
増要因 新たに建設された公営住宅を、加入に結びつけたことが、増加の主な要因である

減要因 —

【基本目標4】 安心な暮らしをつくる

⑤防災・防犯など暮らしの安全・安心確保対策等の充実

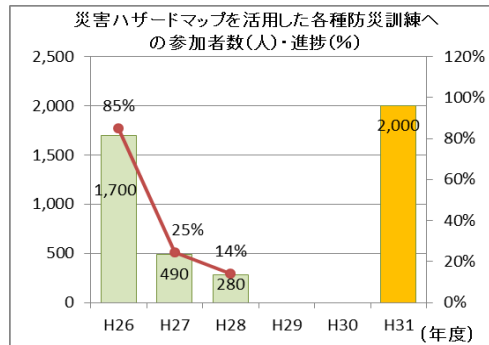
ア 防災体制の強化



増要因 これまでの防災教育のノウハウが学校現場に浸透するとともに、関係機関の協力が円滑に進められたため

減要因 —

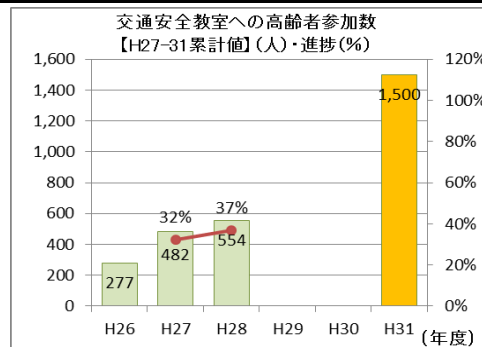
ア 防災体制の強化



増要因 —

減要因 H28年は、台風の影響により、防災総合訓練(参集想定約1,000人)、阿寒地区訓練(参集想定約300人)、音別地区訓練(参集想定約300人)を中止し、津波避難訓練(愛国東・美原・文苑・芦野地区)のみの実施となったため。

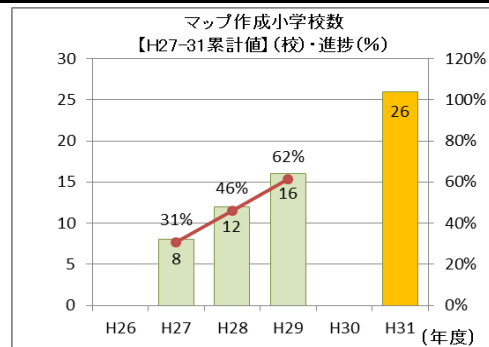
イ 地域を守る安全対策の強化



増要因 これまで、教室依頼があった団体へのみの対応であったが、28年度は高齢者が関係する行事等の情報を収集し、働きかけたことが、増加の要因である

減要因 —

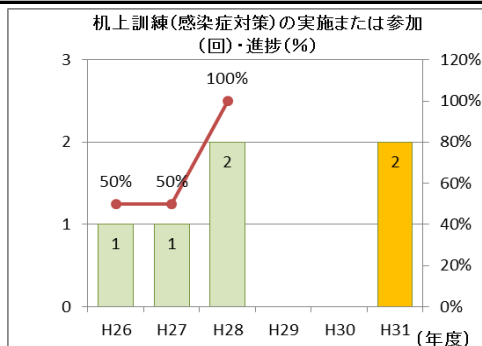
イ 地域を守る安全対策の強化



増要因 市内を6地区に分け、毎年4~6校で作成している

減要因 —

ウ 防疫、健康危機管理体制の整備



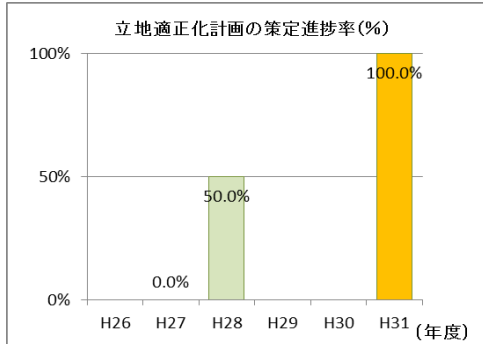
増要因 —

減要因 —

【基本目標 5】 人口減少に対応した地域をつくる

① コンパクトなまちづくり

ア コンパクトなまちづくりの推進



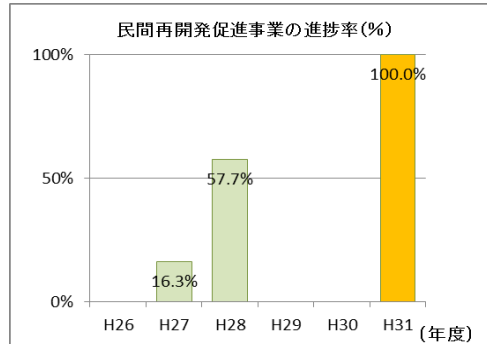
増要因

立地適正化計画を策定したため（本計画は、4年間という策定スケジュールの中で、当初の2年間で都市機能誘導区域等を定めた計画を策定し、その後、居住誘導区域の設定等を平成30年度までに計画改訂の形で位置付けることから、進捗率は50%としている）

減要因

—

イ まちなか居住の推進



増要因

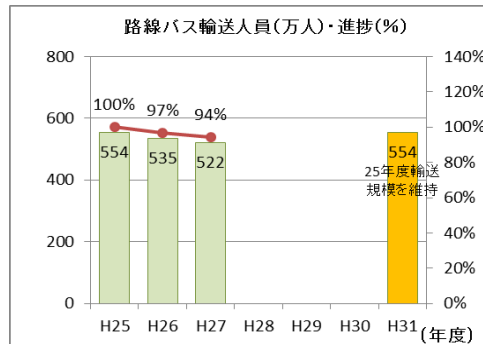
事業が進んだため（事業期間H27～H30の2ヶ年目）

減要因

—

② 交通ネットワークの充実

ア 公共交通の維持確保と再構築



増要因

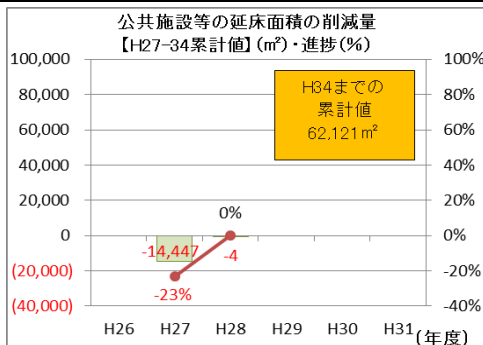
—

減要因

人口減少と過度な自動車依存社会の定着による

③ 総合的・戦略的な公共施設の整備

ア 公有資産マネジメントの推進



増要因

阿寒町サイクリングターミナルの新インフォメーションセンター、教職員住宅（阿寒湖温泉6丁目）の新築等

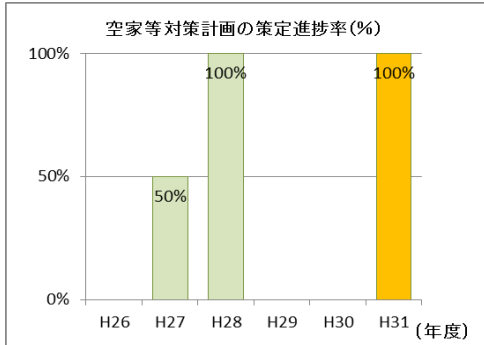
減要因

—

【基本目標 5】人口減少に対応した地域をつくる

④空家等対策の推進

ア 空家等対策の推進



増要因

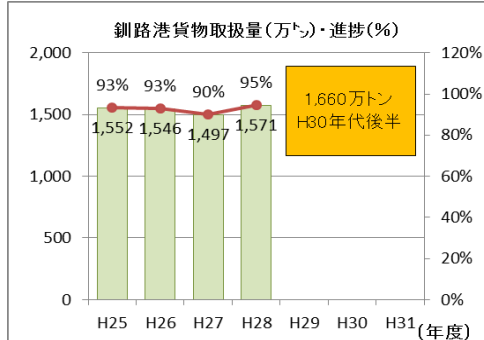
—

減要因

—

⑤東北の中核都市としての拠点性の向上

ア 物流・国際交易拠点機能の充実



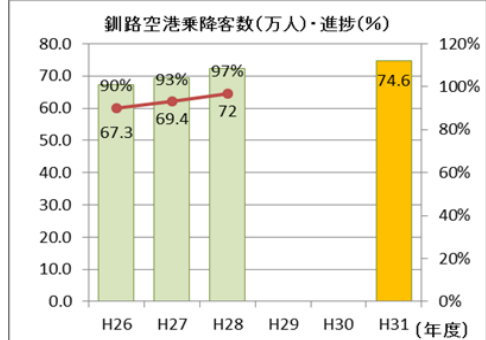
増要因

輸入のともろこしの取り扱いが増えたことや本州での生乳の需要増による移出増。木材チップが道内からの陸送(帯広・北見)調達減による輸入増及び製紙工場及び製造工場において石炭の需要増による移入増や、道東地域においてスラグの需要増による移入増。

減要因

—

ア 物流・国際交易拠点機能の充実



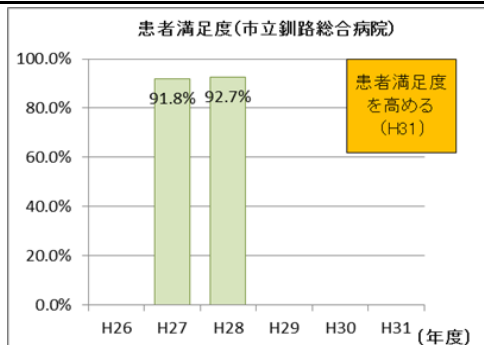
増要因

東京線の機材大型化期間延長によるもの(延長期間の拡大)

減要因

—

イ 医療体制の整備(再掲)



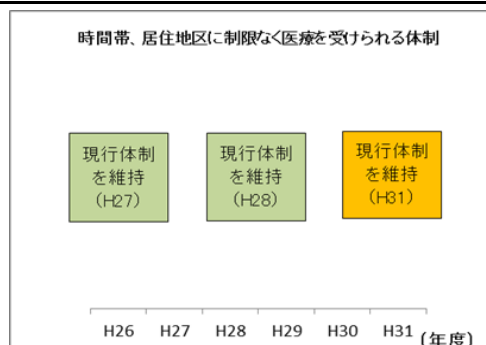
増要因

院内の患者満足度を高めるための取り組みによる成果

減要因

—

イ 医療体制の整備(再掲)



増要因

—

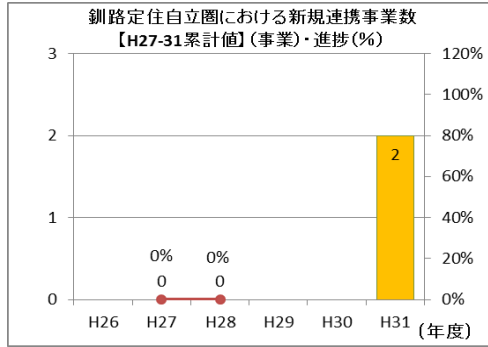
減要因

—

【基本目標5】人口減少に対応した地域をつくる

⑥定住自立圏等の取組の推進

ア 釧路定住自立圏等の取組の推進



増要因

—

減要因

検討中の案件は存在するが、町村との調整に時間がかかり、事業化まで至っていない